





考察：信仰の本質

- 信仰の両面
 - メリットは？
 - デメリットは？
- 映画から感じる信仰とは何か？
 - なぜ信仰を持つのか？
- 第1回～3回を通して見えてくるこの世界の真相（真理）は？



信仰の本質

- 信じる以外に事実ベースの根拠がない
- 快楽を求め、苦痛を避ける
- 信仰から外れた行為（信じられない）→懺悔（告白）
- 信じる力の試練：最も信じれる人が偉い



信仰の本質

- では、何を信じているのか？
- 信じるとは何か？
 - 自発的？
 - 受動的？
- 信じる理由（根拠）の関係
 - 権威、事実、経験の本性は？



表現者の背景



- イタリア移民。
- 少年時代カソリックの司祭を志していた。



- 12歳の時に伯母の影響でカソリックの洗礼を受ける。
- キリスト教作家。



監督の意図

- スコセッシ（遠藤周作）がこの作品に込めた意図（メッセージ）は？



信仰の本質

- フェイレラ神父

“He nurtured us in the faith. He shaped the world for us.”





タイトル

- なぜタイトルは
“沈黙（サイレンス）”だったか？
- 沈黙にこそ監督のメッセージがある
- 聖書「初めにことばがあった」



タイトル

- 沈黙＝情報が無い＝神（全ての創造主という意味での）
- 人間世界との対比としての沈黙
- 人間が生み出している（人間の内に生み出されているもの）は情報と…



ことば=情報





真理

- この私たち人間の世界の真相は情報と感情でできている
- その意味で...
仮想現実と何ら変わることはない



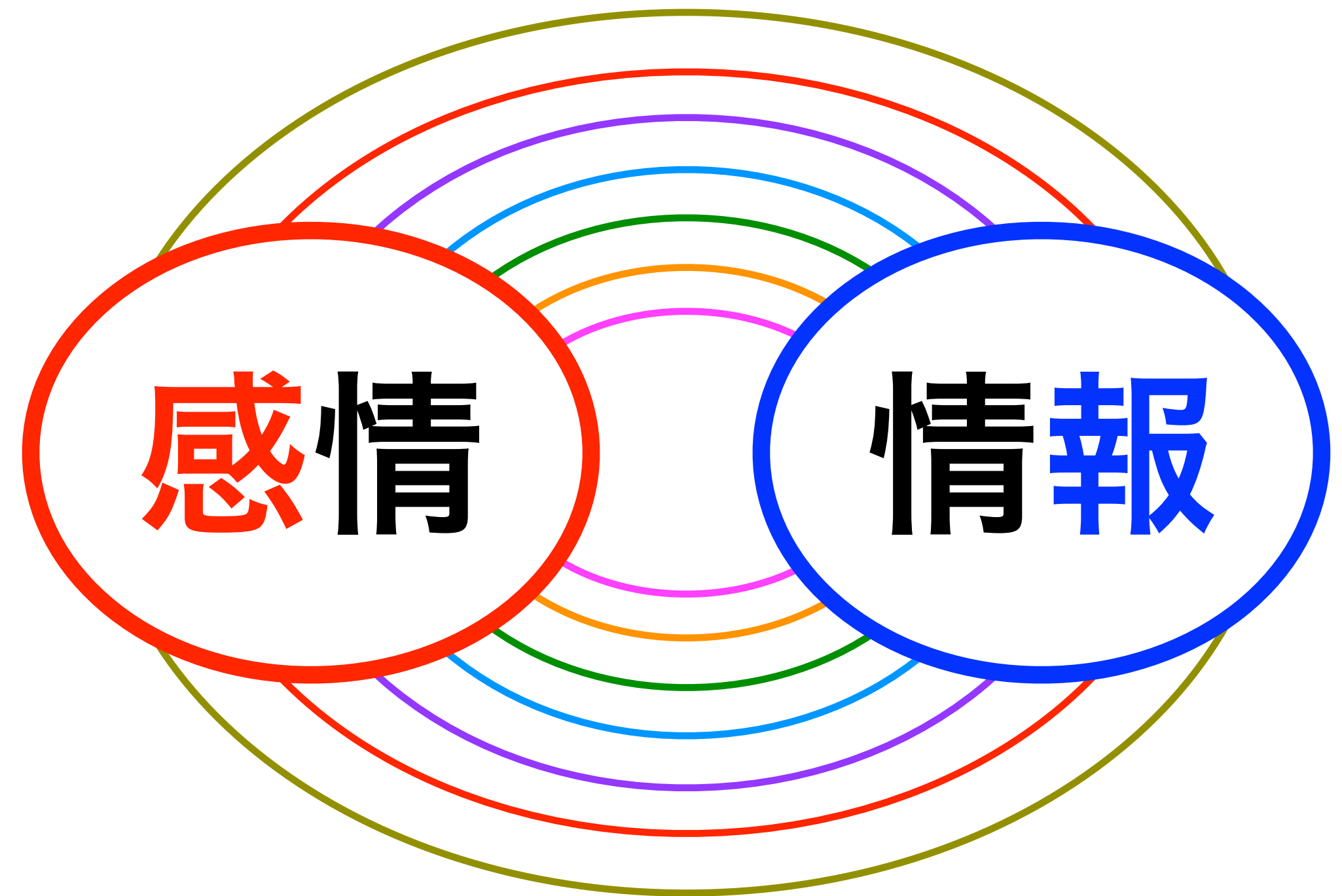
本質の問い

- 人間関係で困ることはない
- 健康で困ることはない
- お金で困ることはない
- その本質的な意味は？



世界の真相

生命 (愛) = I = 私





次回のシリーズ

- “私”
 - ミッション (8/24、10pm)
 - 性
 - 意識